

令和元年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



# 四季の森

2月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

## 見えないものを想像する力

副校長 安富 直樹

令和2年1月14日（火）に、四季の森小学校の体育館に獅子舞がやってきました。「上白根囃子保存会」の皆様、お正月らしい貴重な時間をつくっていただき、誠にありがとうございました。

笛や太鼓、鐘に合わせてなめらかに動く獅子を子どもたちは見入っていました。舞いの途中で、自分の足を噛む仕草がありました。獅子の中では、どのような動きをしているのかと自分の足を触りながら、今見えていない隠れているところを想像し、身を乗り出している子どももいました。「最初は人が動かしていると分かっていたけれど、途中から本物の生き物に見えてきた」と感想を口にしている子どももいました。



3年生「電気」や4年生「空気」の学習をすると、「先生、目に見えないものほど、大切なものが多いね。」と発言する子どもがいます。電気がなければ、インターネットにもつながりません。空気がないと生きていけません。5・6年になると、「本当に大切なものって、いつも見えません。心の中も見えません。」などと、話し合いの感想に書いてくる子どももいます。人は今まで経験してきたことと新しい経験を結び付けたり、関係づけたり、気持ちを察したりしながら、未知のものでも想像します。実際に見えないものでも、人は想像できます。国語の学習で、金子みすゞさんの『星とたんぽぽ』の詩を手にした子どもたちは、これまで以上に「見えないもの」を大切なものとして考えるようになります。

オリンピックイヤーとなる、2020年。これからは、生活の多くの部分をAIが担うと言われています。未来に生きる四季の森小学校の子どもたちにこそ、見えないものを想像する力を、様々な機会をとらえ、育んでいきたいと考えています。



星とたんぽぽ  
金子みすゞ

青いお空のそこふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまでしずんでる、  
昼のお星はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

ちつてすがれたたんぽぽの、  
かわらのすきにだアまって、  
春のくるまでかくれてる、  
つよいその根はめにみえぬ。

見えぬけれどもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ、  
見えぬものでもあるんだよ。

年度末が近づいてきました。今後、転出の予定、可能性があるご家庭がございましたら、早めに担任までご連絡をいただけますよう、お願いいたします。